

第563回：“至上命題”

こないだ、どこかの証券会社のレポートを読んでいたら「再選を至上命題とするトランプ大統領・・・」という表現を発見して感動してしまった。三省堂国語辞典の「しじょう」の項に登場する有名な日本語の誤用例だが、ほんとうに書く人がいたとは！たしか小谷野敦氏が「頭の悪い日本語(新潮新書)」のなかで、半可通な知識を振り回す人がしばしば誤用する日本語として紹介していたような気がする。

「命題(proposition)」とはもともと論理学用語であり、「私は日本人である」など事実をありのままに述べる平叙文で、且つ真か偽かを言えるもののこと。これを「課題」や「問題」の高級表現だと勘違いして使う人が多く、その発展型が「至上命題」だ。「達成すべき課題」と素直に書けばいいのに、カッコをつけて「日本経済の復活は至上命題だ」などとやってしまう。全てに優先して行なうべき事柄を「至上命令」と言うが、想像するに「命題」を誰かから命じられることと誤解した結果、珍語「至上命題」が誕生したのかな。

些細な誤用に見えるが読者の目は厳しい。でも、ことばの誤用は誰にでもあることであり、当人を責めるよりは、組織においてそれを未然に防止するチェック体制と、チェック能力を有する人材が払底していることを編集長が反省し、改善策を講じるのが組織の至上命題ではないか・・・あっ！ボクにも伝染してしまった。

新聞社では特派員が書いた文章や通信社が配信した記事は、デスクと呼ばれるベテラン記者のチェックを受けて「原稿」となり、整理記者のもとへ集約され、そこで分かりやすくて的確な見出しを付けて、最終的にわれわれがふだんにする「記事」となる。

筆者は執務参考資料として職場の書棚に、「夏目漱石書簡集」、「記者ハンドブック」などと共に、「東スポ伝説 一面見出し、そこは一行の劇場だ(東スポ探検隊/編)」を置いている。

スポーツ紙の第一面を飾る「G 馬場血だるま圧勝、外人組粉碎！」といったプロレス記事の見出しの作り方は、金融情報の発信においても裨益するところ大だと思うのですが・・・。

いくら内容が優れていても、「投資家の関心事は足元の企業業績悪化ではなく、中長期的企業戦略にあると当社は考える」なんて冗長なセンテンスのような見出しでは困るし、業界関係者にだけ通じて他の者にはわからない「楽屋落ち」のようなヘッドラインでは、誰も読んでほしくない。

証券業界では江戸期からの相場用語が一部いまでも使われているようだが、いまでは内藤錦城のような練達の士しか知らないような用語も多い。素人の筆者には、長いこと商いが少なく動きがない閑散状態のことを指す「動意薄」、意味は分かるけど「小確り(こじっかり)」、「保ち合い(もちあい)」、「小甘い(こあまい)」といった表現は苦手としかいいようがない。

閑話休題。中国情報の発信で苦勞するのは翻訳や呼称の問題だ。例えば企業名だが、同じ漢字を用いる日本と中国では、中国建設銀行(00939/HK)や中国長江電力(600900/上海)のように、翻訳するまでもなく、そのまま素直に読めば意味が通じる固有名詞が多い一方、ちんぷんかんぷんの名称も少なくない。

これ読めますか？ 呷哺呷哺餐飲(00520/HK)。漢音を使って日本語読みすると「こうほうほさんいん」と

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

なるが、音読みしても何の役にも立たない。

実はこれ、中国で約 1000 店舗もの「火鍋」チェーン店を展開する香港上場の企業。漢字をよくよく見れば、「やけ酒を呷る(あおる)」、「哺乳瓶(ほにゅうびん)」等に使われている漢字だが、いきなり呷哺呷哺なんて字が登場してきたら、ふつうの日本人は目が点になるだけだ。

読み方の正解は中国語読みだ。どうやらシャブシャブの当て字のようで、料理は日本のシャブシャブとは似て非なる中華的火鍋だが発音は「xiabuxiabu(シアブーシアブー)」だ。

火鍋料理と云えば河南省で創業し、北京や江蘇省など徐々に全国展開を進めている「巴奴毛肚火鍋」もスパイシーで美味しい鍋屋チェーンだが、こんな会社が上場したら本邦の投資家は読み方に難渋するだろう。この火鍋のルーツは、辛亥革命直前の清朝末期、揚子江の上流・重慶で働く「巴奴(バーヌー)」と呼ばれた荷役人夫(クーリー)たちが好んで食っていた安くて美味しい毛肚(マオドウ=牛モツ)、もう少し正確に言えば牛のセンマイ(3番目の胃)を中心にしたモツ鍋だ。巴奴毛肚火鍋有限公司を、日本人が無理してバーヌー・マオドウ・フオグオ…なんて発音したら、舌を噛み切る恐れがあるので請御注意。

中国語でも、庶民の生活のなかから生まれた口語がルーツの「巴奴」、「毛肚」といった中国語は、論語にも孫子にも載っていないから、日本人には読みにくい。

日本人にとって最も理解しやすい中国の名詞や動詞は、西周を主たるルーツとする「藝術」、「理性」、「科学」、「技術」、「心理学」、「意識」、「知識」、「概念」、「帰納」、「定義」などの和製漢字だ。

西周といっても、武王が周公旦や太公望たちに助けられて紂王を滅ぼして建国した国の名前ではなくて、明治の哲学者・啓蒙思想家の西周(にしあまね)先生のこと。西男爵が欧米の学術書を学び、日本語に翻訳した言葉の中には「命題」も含まれており、これらの和製漢字のほとんどを中国は輸入し、今でも使っているから、これらの単語が含まれる中国語の翻訳は比較的易しい。

中国に対する激辛批判で名高いジャーナリスト・高山正之の著書、「変見自在 習近平は日本語で脅す(新潮社)」を読めば、世界制覇を目指す彼の人々が日本を非難する演説にしばしば用いる中国語の約 7 割、例えば日中間の「歴史認識、帝国主義、侵略国家、国際問題、安全保障、危機感、国際公法、強制労働」等々が「和製漢字」だということがわかる。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

2019 年(令和元年)12月25日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650% (税込み) に相当する額が 3,300 円 (税込み) に満たない場合は 3,300 円 (税込み)、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して 最大 0.8800% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.75% となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

③債券の手数料等およびリスクについて

・非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスクおよび為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

④投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

⑤株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

・株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0880% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.400% (税込み) の手数料をいただきます。約定代金の 4.400% (税込み) に相当する額が 2,750 円 (税込み) に満たない場合は 2,750 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

・株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。